

## 『基礎講座 建築環境工学』(2版2刷) 正誤情報

2025.12.10 学芸出版社編集部

本書に下記の誤りがございました。下記の通り訂正いたしますとともに、読者の皆様に深くお詫び申し上げます。

P.79

▶2 気密性能について、下記の通り修正いたします。

住宅性能の……判定式は、

$$C \text{ 値 } [\text{cm}^2/\text{m}^2] = \text{住宅の全部の隙間面積 } [\text{cm}^2] \div \text{気密にする室面積 } [\text{m}^2]$$

すなわち、C 値の大小で気密性能が判定でき、C 値が低いと気密性が高く、隙間風が少ない高気密住宅とされる。

P.84 第3章 ○×問題 4.

誤：…一酸化炭素は 10ppm 以下である。

正：…一酸化炭素は **6ppm** 以下である。

P.138 右段 4 行目

誤：17. 昼間の直射日光による屋外の平面照度は、約 3,000 lx である。

正：17. **普通の日の屋外の天空光による水平面照度**は、約 3,000 lx である。

以上